

文部科学大臣 様

定時制・通信制教育の充実を求める署名

今、定時制・通信制高校に学ぶ人がふえています。その中には、働きながら学びたい人やさまざまな困難を抱える人などがいます。定時制・通信制高校には、きめの細かい、ゆっくりとした教育があります。また、人と人との関係に温もりがあり、何よりも一人ひとりの成長を育み、仕事で疲れた心をいやす仲間や先生がいて、楽しく学べる場所となっています。しかし、全国的に定時制・通信制高校がつぶされ、合併させられるなかで、本来のあるべき定時制・通信制高校の数は年々減少しています。

私たちはそんな定時制・通信制高校を守り、憲法や子どもの権利条約に示されている教育を受ける権利を定時制・通信制で学ぼうとしているすべての人たちに保障したいと願っています。そのために、以下の項目の実現を求めます。

記

1. 生徒の学ぶ権利を保障してください。
 - (1) 定時制・通信制高校の統廃合を一方的にすすめないでください。
 - (2) 国の責任で、定時制・通信制教育にかかわる経費を無償にしてください。とりわけ、在籍するすべての生徒の教科書・学習書、給食費は無償にしてください。
2. 定時制の1学級の定員を20人以下にしてください(40人1学級より20人2学級の方がきめ細やかな教育ができます)。
3. 定時制・通信制高校の定数を改善して教職員を増やしてください。
 - (1) 教育に臨時はありません。今いる臨時教職員を正規職員にしてください。
 - (2) 通信制の教員定数を抜本的に改善してください。現状は限界を超えています。
 - (3) 通信制の養護教諭や現業職員など、定時制・通信制に必要な教職員を配置してください(一部の定時制やほとんどの通信制の高校には養護教諭がいません)。
 - (4) 進路指導を充実させるための専任教員を配置してください。
 - (5) 発達障害や病弱・日本語を母語としない生徒など、特別な教育的ニーズを持つ生徒の発達を保障するため、専門・専任の教員を配置してください。

氏 名	住 所

取扱い団体 日本高等学校教職員組合